



海外赴任生活を健康に過ごすために

第 261 回

大澤さん：みらい先生、こんにちは。わたしの会社は比較的大人数の赴任者を海外に派遣しているのですが、海外赴任者の健康管理について相談をさせてください。

みらい：こんにちは、大澤さん。特に今年は、感染症対策の見直しも含めた検討が大切ですからね。

大澤さん：そのとおりです。ただ、海外赴任者の健康管理は、状況を把握するのが難しくて、国内の社員以上に対策に悩みます。まず、海外赴任前に留意るべきことはありますか？

みらい：まずは健康診断を受けることですね。それに加えて、既往症や現在服用している薬などがあれば、そういう情報も共有しておきたいところです。

大澤さん：赴任前健康診断のことですね。診断の結果、持病があったりしたら、赴任させてはいけないでしょうか？

みらい：そんなことはありません。ただ、海外赴任はストレスや食事など、体調を崩しやすくなる要因が多くなるため、体が敏感な方は要注意です。また、服用薬によっては、持ち込みが難しい場合もあるため、海外でも使える薬かどうか、ご本人と一緒に確認をしておきたいですね。

大澤さん：予防接種の確認も必要ですよね。

みらい：そうですね。予防接種は、国によって接種しておくべきものが異なるので、赴任先に応じて確認をしてください。ちなみに、予防接種自体は、「必ず受けないとダメ」というものではないので、会社として接種を強制させることはできません。ご本人の希望も考慮して、対応するようにしましょう。

大澤さん：わかりました！ 赴任前のコミュニケーションが大事ということですね。その点でいうと、赴任して海外に住んでいる間も、本社で本人の体調確認などはするべきですね？

みらい：そうですね。ぜひ赴任者の方とは密にコミュニケーションをとってほしいと思います。まずは現地で使える医療機関を確認し、医療事情について共通の認識を持っておきたいですね。

大澤さん：実際に医療機関を利用した場合は、本社は何をするべきでしょうか？

みらい：赴任先で医療機関を受診した場合、まずは海外旅行保険を使うことになります。そのときの対応について、保険会社と連携して頂ければと思います。もしもの時の対応方法については、赴任前にご本人と確認しておいてください。加えて、治療内容によっては、日本の健康保険の療養費の請求ができることがあります。申請に必要な書類等をご本人に伝えて、手続きができる体制をつくっておきましょう。

大澤さん：わかりました。その他、赴任者が現地で健康に過ごすために日本から支援できることありますか？

みらい：ぜひこまめに連絡をとってもらえばと思います。やはり、言語も文化も異なる土地で奮闘されている赴任者の方は、日本で過ごすのとは異なるストレスを感じています。何かあったとき頼れる存在になれるよう、サポートをして頂きたいと思います。

大澤さん：そうですね。海外赴任者のメンタルヘルスも、国内と同じくらい気を付けたいと思います。

みらい：感染症対策ももちろんですが、元気に前向きに生活してもらうことが健康維持の何よりの秘訣でもあり、海外事業の成功にもつながります。国内外一丸となって、この危機を乗り越えたいですね。

大澤さん：そのとおりですね！ こんなときだからこそ、海外赴任者にはぜひ元気に頑張ってもらいたいと思います。ありがとうございました！

<筆者紹介>

みらいコンサルティンググループ

(本社：東京都中央区・国内 9 拠点)

現地法人：中国（北京・上海・深セン）・マレーシア（KL）・ベトナム（ホーチミン）・シンガポール・タイ（バンコク）

JapanDesk : 米国 (LA)・中国 (大連)・台湾・香港・ミャンマー・フィリピン・カンボジア・インドネシア

URL : <http://www.miraic.jp/>